

平成 28 年度の各施設の事業報告

ケアハウスあさひ鯉桜苑・あさひ鯉桜苑デイサービス

1. ケアハウスについては、今年度は当施設では生活することが困難になった入居者が 4 名他の施設に転居、年間では 8 名の退去者があり入居者は 10 名でした。平成 28 年 3 月末で 42 名の入居者となっております。入居者の皆様も高齢化しており、平均年齢は 84.4 歳（最高齢は 99 歳）となっております。前年度の延べ入居者数は 488 名でしたが、今年度は 482 名となっております収支は 1,669 千円の赤字です。現在入居者募集を各居宅介護支援事業所・町の包括支援センター・民生委員等をお願いしています。27 年度後半から事務系職員が 5 名入れ替わり大変な一年でしたが入居者の皆様が明るく、安心、安全に生活できるように職員全員が一生懸命お世話をさせていただく事を第一に考えております。
2. デイサービスについては、近年デイサービスが富士川地区に多く開業されており、利用者の獲得が大変なことや、利用者の死亡等により残念ながら平成 27 年度は延べ利用者人数が 2346 名でしたが、平成 28 年度は 2282 名となっております、64 名の減少となっております今年度 1,612 千円の赤字でした。当デイサービスにおいても、利用者の増やすために各居宅介護支援事業所及び町の包括支援センター等をお願いすると同時にケアハウスの入居者に頼らず、外からの新規利用者の獲得に力を入れ、地域に密着した介護サービスを展開していき、赤字経営からの転換を図っていきます。
3. ケアハウスあさひ鯉桜苑、あさひ鯉桜苑デイサービスも築 19 年目に入り設備、器具などの修理が年々増えています。そのためにも修繕費の確保を考え運営をしていきます。

富士川町鯉沢デイサービス

1. 28 年度利用者は 279 名増えております。あさひ鯉桜苑デイサービスと同様に数多くのデイサービスの開業で利用者の獲得が難しくなってきたことや利用者が高齢化しておりショートステイや特別養護老人ホーム等に入居される方が多くなり入居した施設のデイサービスを利用しております。現在、各居宅介護支援事業や町の包括支援センター等に新規の利用者の紹介をお願いしています。
2. 経費の支出については、町との協定で、設備の故障が発生した場合は 20 万円を超える時は町の負担となりますが、20 万円未満の経費は当方で負担することになっており、建築後相当年数が経過しているため、細かい修理が発生して経費が増加しております。今年度の経費総額 35,594 千円となっております、最終的な収支は 1,763 千円の黒字でした。

デイサービスむぎの穂

むぎの穂については、平成 27 年年度の利用者 2,232 名で、28 年度は 2,222 名で 10 名減でしたが比較的介護度の高い利用者が多いため収支は 639 千円の黒字になりました。地域的に介護スタッフが集まりにくく個々の負担が大変厳しい現状ですが、利用者に寄り添う介護を念頭におき、地域に信頼をしてもらえ、施設になるようにしていきます。※平成 28 年度の苦情関係は、各施設ございませんでした。

居宅支援事業所

平成 27 年度の利用者数は 347 名 でしたが 28 年度は 276 名になりましたがケアマネジャーの一人が退社して入れ替わった為、収支については 667 千円の黒字になっています。近隣市町村の介護課、包括支援センターや病院のソーシャルワーカーと連携をして引き続き利用者に信頼される事業所であるよう運営します。